※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０１

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「MOUSA１」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１学期はおもに発声法、リズムアンサンブル、クラシックギターの取り扱いや基本的な奏法、読譜等、音楽の授業における基本を重点的に学習します。２学期は、１学期の学習内容をさらに深めながら合唱、三線演奏の楽しさを味わってもらいます。３学期にはグループ毎に自由課題の演奏を行います。アンサンブルを作っていく過程でクラスメイトと協力をしたり、創意工夫をしたりすることも大切な目標です。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや､音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
(3) 主体的･協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。知識 ・　創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。技能	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう	【歌唱】 発声の基礎 「O Waly Waly」 「群青」 「校歌」	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 【技】姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b:曲の構成を理解し、その効果を感受しながら、意図的に表現している。 c:独唱や二重唱など音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト	実技テスト 振り返りレポート	観察 実技テスト ワークシート
	クラシックギターの基本奏法を身に付けよう	【器楽】 自作プリント 「チューニング、音階、運指、奏法についてのプリント」 「大きな栗の木の下で」(2 重奏) 「日曜日よりの使者」(コード奏)	a:【知】ギターの調弦方法、構え方、運指、読譜力、奏法（アポヤンド、アルアイレ）について理解している。 【技】ギターの調弦方法、構え方、運指、読譜力、奏法が身についている。 b:曲の構成を理解し、その効果を感受しながら、意図的に表現している。 c:ギターの基本奏法に関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的にギターの学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト	実技テスト 振り返りレポート	観察 実技テスト ワークシート

※令和４年度以降入学生用

一学期	身体を使ったリズムアンサンブルを楽しもう	【器楽】【鑑賞】 「Plymouth Rock」 【鑑賞】 STOMP のパフォーマンス映像	a:【知①】曲想と手拍子や足踏みの音色や奏法との関わりについて理解している。（器楽） 【技①】リズムを読譜し、表現することができている。また創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、演奏している。（器楽） 【知②】曲想、音色、奏法の関わりとその演奏効果について理解している。（鑑賞） b:【思①】音色、リズム、速度、テクスチュア。強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。（器楽） 【思②】音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。（鑑賞） c：音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（器楽・鑑賞）	ワークシート 発表	発表 振り返りレポート	観察 発表 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

一学期	カップを使ったアンサンブルを楽しもう	【創作】 Cups(カップを使ったリズムアンサンブル	a：【知】カップを机に打ち当てた音や手拍子の音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴、構成の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。(創作) 【技】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表している。（創作) b：【思①】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。（創作) c：言葉を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作・歌唱の学習活動に取り組もうとしている。（創作)	ワークシート 発表	 <

※令和４年度以降入学生用

二学期	混声合唱を楽しもう	【歌唱】 「いつか、海へ」(混声4部合唱アカペラ)	a：【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している b：音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c：曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト	実技テスト 振り返りレポート	観察 実技テスト ワークシート
	三線入門	【歌唱】【器楽】【創作】【鑑賞】 自作プリント(三線の調弦、工工四の読譜、音階) 「海の声」「てぃんさぐぬ花」(三線を使った器楽合奏、合奏への編曲)	a:【知①】三線の調弦方法、構え方、運指、工工四の読譜について理解している。（器楽） 【技①】三線の調弦方法、構え方、運指、工工四の読譜が身についている。（器楽） 【知②】曲想と音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。（歌唱、器楽） 【技②】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、歌唱、器楽で表している。（歌唱、器楽）	ワークシート 実技テスト		

※令和４年度以降入学生用

二学期	三線入門	【歌唱】【器楽】【創作】【鑑賞】 自作プリント(三線の調弦、工工四の読譜、音階) 「海の声」「てぃんさぐぬ花」(三線を使った器楽合奏、合奏への編曲)	【知③】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、コードの構成音や音型、リズムなどの特徴、構成の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。(創作) 【技③】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、編曲をする技能を身に付け、創作で表している。(創作) 【知④】曲想と音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や、他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。(鑑賞) b:【思①】音色と奏法の関わり、リズム、速度、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。(歌唱、器楽) 【思②】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている。(創作) 【思③】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。(鑑賞)	ワークシート 実技テスト	実技テスト 振り返りレポート	

※令和４年度以降入学生用

二学期	三線入門	【歌唱】【器楽】【創作】【鑑賞】 自作プリント(三線の調弦、工工四の読譜、音階) 「海の声」「てぃんさぐぬ花」 (三線を使った器楽合奏、合奏への編曲)	c:三線の奏法や音色、編曲による効果、他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。（歌唱、器楽、創作、鑑賞）			観察 実技テスト ワークシート
	チャイムでアンサンブルを楽しもう	【器楽】 「The First Noel」 (トーンチャイム合奏)	a: 【知】トーンチャイムの奏法や音色・強弱の変化ついて理解している。（器楽） 【技】トーンチャイム演奏に必要な、読譜力、曲にふさわしい奏法などの技能を身に付けている。（器楽） b: 音楽の要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。（歌唱、器楽） c: 曲想とトーンチャイムの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱・器楽の学習活動に取り組もうとしている。（器楽）	ワークシート 実技テスト	実技テスト 振り返りレポート	観察 実技テスト ワークシート
二学期	音楽の要素とイメージをつなげよう	【鑑賞】 「組曲《動物の謝肉祭》」	a：【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b：音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている c：音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び音楽表現の共通性や固有性に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	班別自由演奏発表に向け、取り組む	【歌唱】【器楽】【創作】【鑑賞】 自由課題の発表 （曲、楽器編成、アレンジ等、各グループで決める）	a：【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。（歌唱・器楽・創作・鑑賞） 【技①】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能、及び器楽アンサンブルの表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、演奏で表現している。（歌唱・器楽） 【技②】音型、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように楽曲の雰囲気にあった編曲をするかについて表現意図をもっている。（創作） b：【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏・編曲するかについて表現意図をもっている。（歌唱・器楽・創作・鑑賞） c：曲想と楽器の音色や奏法との関わり、及び他者との調和や表現形態の特徴を生かして演奏・編曲することに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。（歌唱・器楽・創作・鑑賞）	ワークシート 発表	発表 振り返りレポート	観察 発表 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度